



大学教育の現状と将来

—全国大学教員調査

大学経営・政策研究センター（東京大学 大学院教育学研究科）
<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/>
 2010年2月

- この調査は、大学で教鞭をとっておられる先生方が、大学教育にどう関わり、どのようなお考えをもっておられるのかを明らかにし、日本の大学教育のあり方を考える基礎とすることを目的としています。
- 回答は2月26日までにご発送ください。いただいた回答はすべて統計的に処理され、個人についての情報が他の目的で使われることは決してありません。集計結果は2010年5月ごろに標記のウェブサイトに掲載する予定です。
- この調査は、大学経営・政策研究センター（東京大学大学院教育学研究科）が『文部科学省科学研究費補助金 学術創成研究』を得て行うものですが、調査の実施にあたっては、社団法人 輿論科学協会に委託しています。お問い合わせは下記までお願いします。

フリーダイヤル 0120-279-939 担当 吉牟田、田ノ本（平日 10:00-18:00）

問1. 先生のご担当の専門分野は主に下のどれに区分されますか。（○は1つ）

16.0 人文科学	6.1 数物系科学	11.9 医・歯学	3.3 芸術・デザイン
4.1 法学・政治学	3.9 化学	6.1 薬学・看護学	3.5 情報
7.8 経済学・経営学	13.2 工学	4.1 健康関連	0.9 そのほか 下に記入してください
5.3 社会学・心理学	2.8 生物学	1.5 生活科学	
4.6 教育学	4.4 農学		

問2. 先生が一学期に担当するコマ（一回90分程度、15回）の数はどれくらいですか。

該当するところにご記入ください

	講義			演習・ゼミ	実験・実習	論文・研究指導
	(100人以上)	(50人以上 100人未満)	(50人未満)			
一般教育科目	1.9	1.8	2.5	2.3	3.6	1.9
専門科目	3.1	2.8	2.8	3.0	4.3	2.8
大学院	2.1	2.2	1.9	2.2	3.5	3.2



先生が担当されている代表的な授業についてお聞きします

(ゼミ、論文指導、実験を除きます。なるべく学部についてお答えください。)

問3. その授業は下のどれにあてはまりますか。代表的な授業1つについてお答えください。
(○は1つずつ)

対象	49.3 学部1, 2年	44.6 学部3年以上	3.5 大学院	1.0 専門職大学院	
内容	4.8 語学	48.5 専門基礎	6.1 その他 一般教育科目	7.7 概論	31.9 その他専門科目
学生数	4.1 10人未満	33.5 10-49人	32.6 50-99人	18.5 100-149人	9.3 150人以上

問4. 授業の力点をどのような点においておられますか。(○は1つずつ)

	非常に重要	重要	重要ではない
最先端の研究成果にふれさせる	11.2	54.2	33.1
確実に学問の基礎を教える	73.9	23.6	1.6
特定の知識・技能を習得させる	27.5	49.9	21.0
自然、社会との関わりから学問の意義を教える	29.9	55.8	12.7
学生の成長にきっかけを与える	43.6	48.1	7.0

問5. 授業の方法として、以下のことを行っておられますか。またそれは有効・必要ですか。
(○は1つずつ)

	行っているか			有効・必要か		
	力を入れている	ある程度	行っていない	非常に有効	ある程度有効	有効ではない
達成目標を明確にする	41.1	54.3	3.5	25.1	66.1	5.5
授業内容に興味をわくような工夫	64.4	34.2	0.5	46.8	48.4	1.5
TA などによる補助的な指導	5.4	19.8	73.3	9.7	41.6	30.6
出席をとる	50.6	31.8	16.6	25.3	51.7	17.1
最終試験の他に小テストやレポートなどの課題を出す	46.9	37.9	14.3	38.5	49.9	6.1
コメントをつけて課題などの提出物を返却する	21.9	36.8	40.2	26.1	51.3	12.8
授業中に学生の意見や考えを述べさせる	23.8	49.8	25.5	28.7	53.4	10.8
グループワークなど、学生が参加する機会をつくる	17.8	26.8	54.3	44.6	21.3	11.3

問6. 出席している学生の意欲はどの程度ですか。(〇は1つずつ)

	十分	不十分	きわめて不十分
学習時間	25.4	58.4	13.9
授業への積極的参加	40.9	51.8	5.6

問7. 出席している学生の学力の面はどの程度ですか。(〇は1つずつ)

	担当する授業からは 評価できない	十分	不十分	きわめて 不十分
国語の読み書き	18.9	28.8	45.3	5.1
英語	46.2	8.1	31.2	12.1
数学	45.0	9.2	31.4	10.7
高校程度の物理、化学、生物、 地学の基礎理解	41.2	12.7	32.2	10.3
専門分野の基礎的理解	7.0	22.6	60.3	7.4

問8. 授業の阻害要因として、下のような点についてどのように考えられますか。(〇は1つずつ)

	大きな障害	障害	障害ではない
授業中の携帯電話・私語	31.3	32.3	34.0
就職活動	18.8	33.9	44.4
アルバイト	14.2	38.5	44.7

問9. 授業の準備・復習として、学生が週に何時間程度を使うことを想定しておられますか。(〇は1つ)

想定する 学習時間	12.9 とくに必要ない	43.8 1時間	26.5 2時間	7.8 3時間	2.1 4時間	4.8 5時間以上
--------------	-----------------	-------------	-------------	------------	------------	--------------

問10. 通常の授業には、最終的に試験をうける学生の何割くらいが出席していますか

出席
8.6 割

問11. 授業にでている学生の何割くらいが内容を理解することを目標としておられますか。
また実際にはどの程度が十分に理解していると考えられますか。

学生の理解	目標	実際
8.3 割		6.1 割

問12. 成績はどのような配分で与えておられますか。

5段階評価の場合(例えば秀、優、良、可、不可)は、上位2つを合わせて優(A)と考えてください。

優(A)	良(B)	可(C)	不可
2.8 割	3.7 割	2.6 割	1.3 割



大学教育の現在と改善の方向についてうかがいます

問 13. より良い授業にするためにどのような条件が必要ですか。(○は1つずつ)

	きわめて重要	重要	重要ではない
TA、技術者など補助人員	14.3	41.6	42.2
IT 機器や設備の改善	19.7	53.2	25.6
図書館など学生が自主的に学習する環境	35.4	55.8	7.4
小規模のクラスにする	45.0	43.9	10.0
担当授業数を少なくして、時間をかける	39.1	46.6	12.9
授業についての教員間の情報・意見交換	25.0	63.8	10.3

他の点があればご記入ください

問 14. 学部・学科として以下のようなことをおこなっていますか。またそれは有効と思われますか。(○は1つずつ)

	実施しているか		有効か		
	している	実施していない	非常に有効	ある程度有効	有効ではない
学生による授業評価	97.3	2.3	10.1	65.6	22.7
成績評価の配分について、基準を設ける	39.6	59.4	7.1	46.8	37.5
成績不良者について助言をおこなう	64.9	34.4	18.5	63.8	11.9

問 15. カリキュラムの上で、以下のようなことを実施しておられますか。またそれは有効と思われますか。(○は1つずつ)

	実施しているか		有効か		
	している	実施していない	非常に有効	ある程度有効	有効ではない
授業科目の履修順序、履修モデルの設定	77.1	21.6	19.8	64.6	9.9
一定のテーマについてのオムニバス講義	64.4	33.9	10.1	58.8	22.2
補習（レメディアル）教育	35.8	62.8	12.7	56.7	17.1
インターンシップ（教育実習や工場実習を含む）	67.0	31.5	29.4	48.1	13.5
学外での体験をとり入れる	52.6	45.8	27.7	46.6	15.0

問 16. 大学教育改善をサポートするのに、どのようなことが有効ですか。(○は1つずつ)

	非常に有効	有効	有効ではない
学会・学術会議などで、専門領域別に、卒業までに獲得すべき知識や技能の標準的な目標を設定する	16.6	51.8	29.8
専門領域別に、標準的な達成度テストを作る	14.8	52.1	31.3
大学が連携して学生の学習状況を調査して、比較分析し、教員にフィードバックする	14.1	55.7	28.0

問 17. 大学教育の改善の方向として、次のようなことを行っておられますか、また将来の方向として重要ですか。(○は1つずつ)

	行っているか			将来の方向		
	力を入れている	ある程度	行っていない	非常に重要	ある程度重要	重要ではない
修得すべき知識を標準化し、それに応じてカリキュラムを体系化する	18.7	53.4	26.2	24.4	60.0	10.7
週2回の授業などを通じて、学生が個々の授業科目に集中できるようにする	8.4	25.6	63.0	13.4	52.2	25.5
少人数の授業を増やすよりも、授業内容、教材などを標準化し、TAなどを組織的に用いる	2.5	32.1	63.0	6.5	49.1	35.8
コミュニケーション能力など、授業で獲得すべき基礎能力を明確にする	21.8	50.7	24.7	32.6	53.7	7.9
研究室、ゼミなどを通じて、教員や学生間の接触を強化する	52.1	39.5	6.4	58.0	35.6	2.4

問 18. 大学院の教育についてどのようにお考えですか。(○は1つずつ)

	強く そう思う	そう 思う	そう思わ ない	全く そう思わない
● 優秀な学生が大学院に来なくなっている	22.4	45.2	25.0	2.5
● 博士課程の定員は縮小するべきだ	20.5	32.6	35.3	5.9
● 大学院での体系的なコースワークを強化するべきだ	11.1	45.4	31.5	6.3
● 修士論文に過剰なエネルギーが割かれている	5.7	18.4	55.4	14.5
● 職業人を対象とした大学院教育の方法・内容はまだ不十分だ	19.6	56.8	15.4	2.6



ご所属の大学と先生ご自身について

問 19. FDとして下のようなものを経験されていますか。またそれは有効と思われますか。(○は1つずつ)

	経験したか		有効か		
	経験した	経験していない	非常に有効	ある程度有効	有効ではない
外部からの講師による講演	82.4	16.8	17.8	64.3	14.4
授業の相互参観	45.0	54.2	15.3	60.6	16.8
教員間の討論、研修・研究会	70.6	28.6	21.3	62.6	11.4

問 20. 大学として下のようなことを行っていますか。またそれは有用と思われますか。(○は1つずつ)

	実施しているか		有効か		
	している	実施していない	非常に有効	ある程度有効	有効ではない
新入生のための科目、新入生セミナー	91.4	7.4	33.1	58.7	4.6
就職や将来のキャリアをテーマとした科目	71.9	26.1	23.5	60.6	9.2
専門スタッフによる学習相談	50.3	47.5	19.5	62.6	8.6
短期留学先での取得単位の認定	63.7	33.5	16.6	59.0	15.7
文科省の大学教育 GP、大学院教育 GP	58.7	35.5	12.1	57.1	19.3

問 21. ご所属の大学を以下の点で、どのように評価されますか。(○は1つずつ)

	非常によい	良い	不備	非常に不備
学生が授業の準備・学習をするための場所・施設	11.4	49.7	32.0	5.9
実験・実習などのための施設	9.9	48.3	32.8	6.6
学生のカウンセリング	7.2	54.9	31.6	4.9

問 22. ご所属の大学全体の課題についてどのようにかんがえられますか。(○は1つずつ)

	現状で特に問題ない	ある程度重要な課題	きわめて重要な課題
入学者の確保	28.1	35.9	35.4
財務状況の改善	21.8	43.6	33.3
教育改善	9.4	57.0	32.7
学生の就職支援	23.2	44.8	31.1
研究水準の高度化	10.8	50.3	38.3
地域社会への貢献	20.5	54.4	24.4
国際化	19.8	54.8	24.6

問 23. ご所属の大学についてお聞きます。(○は1つ)

設置別	35.3 国立	8.4 公立	55.8 私立
-----	-------------------	------------------	-------------------

差し支えなければ、大学名をご記入ください。

大学特性別の比較をするために用います。先生の個人情報につながることは全くありません。
また個別大学の名前を付して分析結果を発表することはありません。

大学

問 24. 大学の運営についてどう考えられますか。(○は1つずつ)

	強く そう思う	そう思う	そう思わ ない	全く そう思わない
● 大学全体としての教育改善についてのとりくみを強化すべきだ	28.2	55.1	13.3	1.9
● 職員の専門性を高めて、教員は教育、研究に専念すべきだ	41.7	42.3	13.2	1.8
● 学長の選任に、教員は投票で参加すべきだ	42.5	43.2	10.5	1.7

問 25. 学期中の時間をどのように配分しておられますか。週あたりの時間数でお答えください。

教育	研究	社会貢献	管理運営
17.2 時間	14.2 時間	4.4 時間	9.2 時間

問 26. 先生の年齢、性別、出身地についてご記入ください。

年齢	7.5 20・30歳台	27.3 40歳台	36.6 50歳台	27.8 60歳台以上
性別	16.5 女性	82.8 男性		
出身地	97.6 日本	1.5 日本以外		

問 27. 大学教員になるまでの経緯についてお聞きます。

大学教員(講師以上)になった年齢	75.6 20・30歳台	17.2 40歳台	5.3 50歳台	1.2 60歳台以上	
大学以外での勤務経験	48.0 なし	13.0 研究所	17.6 教員、専門職	13.6 企業・官庁	11.8 そのほか
教員になる前の留学経験	72.8 なし	26.6 あり			



大学教育全般についてお聞きします

問 28. 大学教育について、以下のような意見についてどう考えられますか。(○は1つずつ)

	強く そう思う	そう思う	そう思 わない	全く 思わない
● 自分の経験した学部教育より、現在のほうが良くなっている	12.0	39.4	35.9	11.4
● 誰にとっても意味がある教育として大学教育の理念を考え直すべきだ	13.9	49.0	30.2	4.3
● 授業料が高くなっても、高質の教育を行うべきだ	10.4	37.3	43.6	6.6
● 就職協定の尊重など、企業にも責任を果たさせるべきだ	36.4	47.1	12.2	1.9
● 大学と一般社会の認識ギャップが広がっている	16.2	44.4	35.4	1.9

大学教育のありかた、大学教育についての政策、この調査などについて、ご意見を自由にご記入ください。

別紙に印字して、同封していただいても結構です。

調査項目はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。